

Wing ういんぐ



Vol.28 2007年秋

《特集》 父親であることを楽しもう

目次

- ・〈東京発〉インタビュー～NPO法人Fathering Japan 代表理事 安藤哲也さん～ 2～3
- ・〈いわき発〉父親座談会 4～5
- ・「男女共同参画会議2007いわき」を開催 6～7
- ・「転入女性交流のつどい」ほか事業報告／キッズコーナーほか 8

男性の働き方の見直し不可欠

男女共同参画社会づくりに向けての全国会議

日時 6月29日(金)午後1時30分～

会場 東京都日比谷公会堂

シカゴ大学の山ロー男教授が「ワーク・ライフ・バランス(WLB)の実現のために」と題して基調講演を行いました。そのなかで「出生率低下の主な理由は、企業の支援体制の不備、夫の非協力、経済的問題の3つである。妻が夫とよく話をしていると出生意欲も高まる。またWLBには男性の働き方の見直しが不可欠。夫の労働時間を減らすべきである。正規と非正規労働者の賃金格差を解消する必要がある」と述べられました。

パネルディスカッションでは、日本女子大学の沢真知子教授が「去年、『ワークライフバランス社会へ』という本を書いたためか、男性中心の団体から講演依頼があった。男性の意識も少しずつ変わってきていると考えられる」、ワーキングマザーのための会員制ウェブサイト「ムギ畑」を主宰している勝間和代氏は「仕事と育児・家事の両立のためには、働く女性の自助努力だけでは限界がある。いかに周りにも理解

してもらうかが課題である」、株式会社カミテの上手康弘社長は「育てた従業員に育児や介護で退社されるのは会社の損失であり、従業員の能力を十分に発揮できるようにすることは会社の責務である」、TOTO株式会社の木瀬照雄社長は「男女半々採用のつもりが、まだ女性の方が少ない。女性社員の活性化は大切と考えている。WLBに対する管理職の意識はまだ低いので教育しているところである」と各々の立場で意見が出されました。

